

【中学2年】 その反抗は、SOS かもしれない。中2の子供と親の距離

この頃になると、男女ともに体が親と同じくらいに大きくなり、圧迫感が出てきます。そんな彼らに反抗されて、男子は乱暴な態度と言葉、女子は大人顔負けの真を突く言葉を武器にして、キツイ言葉をかけられると、親としては悲しいとか、怖いとか…という気持ちになることもありますね。

でも、彼らはそんな時、自分で制御できない感情やトラブルを同時に抱えていることが多いものです。

彼らの秘密に遠慮せずに近づいたり、頼まれていないのに解決してあげようと接近したということであれば、彼らのキツイ言葉や態度は「SOS」と受け取って良いと思います。

子供がイライラしているときは、「なんだか大変なんだね」と子供に聞こえる声で独り言をつぶやき、少し時間を経てから、「何かあったようだね、よかったら話して？聴くよ」とか、「お茶飲まない？」、「お菓子買ってきてよ」と、さりげなく接近してみましょう。まだ、イライラが治まっていなかったら、「また、今度ね」とさっと引き上げるとよいです。

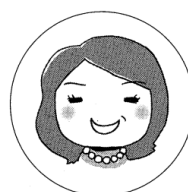
子供の問題は子供自身が解決していくことを本筋としながら、「よかったら、力を貸すよ？」という、少しだけ他人行儀な感じで、彼らの側にいてあげるのが「程よい、思春期の親子間の距離」ではないかと思います。

一人で悩みや問題の SOS を抱えず、相談できる・話を聴いてもらうという経験をしている子供は、大人になってから「相談上手」な人になり、悩みに潰されることはないでしょう。

執筆：認定特定非営利活動法人育て上げネット 「結」相談員 森 裕子・墓田 薫

「ニート・ひきこもりの子をもつ親の会『結』」
(運営：認定特定非営利活動法人育て上げネット)

若者の「働く」と「働き続ける」を実現するために、若年無業者就労基礎訓練プログラム「ジョブトレ」など、多方面からの支援を行っている「認定特定非営利活動法人育て上げネット」の活動の一つで、親をサポートするための会。1 か月ごとの定期相談やすぐ実施できる「接し方・伝え方」ワークショップ、親同士の気軽な茶話会などを提供している。



墓田さん



森さん

※執筆者の肩書等は、令和2年(2020年)3月現在のものです。